

## [育林第二研究室]各種試験地の設定

汰木, 達郎  
九州大学農学部附属演習林 : 助教授

<https://doi.org/10.15017/1456274>

---

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和41年度, pp.115-116, 1967-07-10. 九州大学農学部附属演習林  
バージョン :  
権利関係 :



樹皮内部の棲息環境がかなり異なること、雨による薬剤の樹幹流下量が多く内部への浸透も難しいこと等が大きく影響しているのではないかと考えられる。

- 1) 小野一已・汰木達郎・中島誠      スギのタマバエ類に関する研究(第1報)  
——スギザイノタマバエの生態——第22回日林九林  
講1966.
- 2) 熊本営林局経営部造林課      T-7.5乳剤Aのスギザイノタマバエに対する殺虫効  
果実験。

## 各種試験地の設定

汰 木 達 郎

### 1) 林内微気候観測試験地

スギ林内の微気候が他の森林とどのようにちがうかをしらべ、とくに当面問題となつてゐるスギの〔タマバエ類〕の生態的な防除に対する環境面の基礎データを得ることを目的として試験地を設定し諸種の環境因子について測定を行なつてゐる。

#### 試験地の状況

地況 西北、傾斜15～25°

林況 19林班スギ林(昭和16年植栽)および隣接広葉樹林

スギ林は植栽間隔1.8×1.8mで過去間伐は行なわれていない。その一部を等高線に直角な方向に1列おきに列状間伐を行なつた。

広葉樹林はブナ・ミズメを主とする樹高15～16mの林分。

#### 測定方法

上記のスギ林(未間伐区・間伐区)・広葉樹林内に自記温湿度計・自記地中温度計・寺田式土壌水分計を装置し地上1.0mの温度・湿度、地中10cmの温度、地中20cmの土壌水分を測定することにした。

また一定期間毎に林内照度を測定することにした。

#### 測定時期

昭和41年6月より1年間の予定で測定を始めた。

## 2) 列状間伐試験地

間伐作業の単純化、列状間伐の跡地植栽によるスギ・ヒノキ2段林形式の可能性を検討するために26年生のスギ林に試験林分を設定した。

|     |            |
|-----|------------|
| 場 所 | 19林班       |
| 林 令 | 昭和16年植栽スギ林 |
| 面 積 | 0.8 ha     |

### 間伐方法

- 1) 等高線に直角な方向に3列おきに2列ずつ間伐する区
- 2) 等高線に直角な方向に3列おきに1列ずつ間伐する区

### 更新方法

間伐跡地にヒノキを、2列伐採区では1.4×1.4 mの植栽間隔で2列、1列伐採区では1.4 mの植栽間隔で1列植栽した。

ヒノキ植栽年月

昭和42年3月

## そ の 他

### 自記雨量計の設置

宮崎演習林事務所観測の気象データは演習林全体の位置的関係からしても宮崎演習林の気候を代表しているとはいえないきらいがあるため、この観測記録と演習林各位置の気象との関係を知り、あわせて山岳奥地の気候の特異性を明らかにするため、本年度は大蔵作業所と矢立作業所に自記雨量計、自記温度計を設置し、昭和42年度より観測を始めることにした。